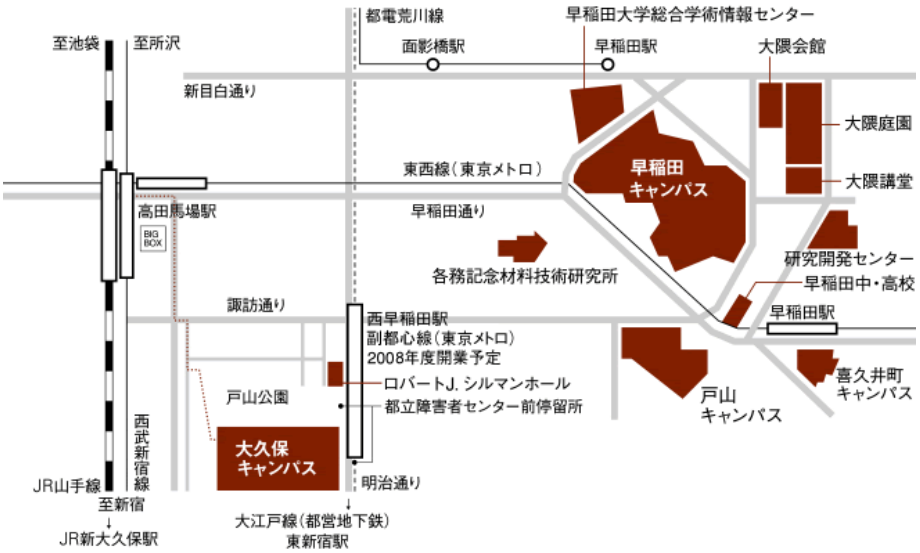
「地下駅空間の防災シンポジウム」

主催:（社）日本火災学会（火災時の避難行動専門委員会）
後援（予定）: NPO 法人日本防火技術者協会

地下鉄駅舎やコンコースなどの地下駅空間は，大都市を中心にますますその規模拡大や深層化が進んでおり，また，いわゆる「エキナカ」と呼ばれる商業空間が増加しつつある。しかしながら，地下空間では，ひとたび火災が発生すると煙の拡散方向と避難方向が重なるという問題があり，また，通勤通学時には不特定多数の利用者が集中するという特徴をもっている。加えて，自然光の導入が困難であるため，停電や火災の煙により視界の確保が困難となるほか，閉鎖空間であることから煙や熱が滞留しやすいという危険性もある。消火や救助などの消防活動の立場からは，火災場所の特定や延焼状況の把握が困難であり，消防隊の進入経路も制限され，煙の流出する出入口から進入せざるを得ないという危険な場合も少なくない。本シンポジウムでは，このような地下駅空間に潜む火災時の避難や消防活動上の問題について報告を頂き，今後の課題を整理する。

主題:「地下駅空間の火災と避難
－地下で火災になったらあなたはどうする？－」
日時: 2008 年 7 月 4 日(金) 14:30－18:00
場所: 早稲田大学理工学部 大久保キャンパス
55 号館 N 棟 1階 大会議室
(169-8555 新宿区大久保 3-4-1)
アクセスルート：
◇副都心線（西早稲田駅 徒歩 1 分）
◇ＪＲ山手線（高田馬場駅 徒歩 15 分）
◇西武線（高田馬場駅 徒歩 15 分）
◇バス （新宿駅西口 － 早稲田）
（高田馬場駅 － 九段下，都立身体障害者センター前下車）
参加費: 無料（ただし，テキスト代有料）
申込み: 当日受付（定員 100 名）

プログラム（案） 14:30-18:00
司会 佐野友紀（早稲田大学）
1）主題解説： 長谷見雄二（早稲田大学）
2）地下駅空間火災の事例と解析：
山田常圭（消防研究センター）
3）地下駅空間における消防活動上の問題：
松浦和夫（東京消防庁）
4）駆け上がり避難の問題：
萩原一郎（建築研究所）
5）地下鉄駅における非常時の避難計画の現状：
石突光隆（鉄道総合技術研究所）
6）地下駅空間体験報告：
富松太基（日本設計）
7）総合討論
＊演題等は変更する可能性があります。最新の情報は本会ホームページでご確認下さい。



なお，本シンポジウム当日には以下の関連企画がございますので，併せてご案内いたします。
・地下駅空間体験 13:00－14:00 渋谷駅を見学後，副都心線で西早稲田駅まで移動。
集合： 渋谷駅 ハチ公前広場 13 時 参加費： 無料（交通費別）
主催： NPO 法人日本防火技術者協会 詳細は協会ホームページ(www.jafpe.or.jp)をご覧下さい。